

3. 成果重視の施策展開

政策評価等の結果を踏まえ、コストの縮減を図りつつ、事業・施策の総合化、PFI手法の活用等により、成果目標の達成に向けて効率的な施策展開を図る。

《「成果重視事業」・「政策群」の活用》

- 「モデル事業」の基本的枠組みを維持しつつ、政策評価との連携を強化した「成果重視事業」（合計7事業）と、府省横断的に予算措置と規制改革等を連携させる「政策群」（合計11項目）の活用を推進。
【関係資料8（P. 63）】

《政策評価等の的確な実施と予算への反映》

- 所管行政全般にわたって設定した成果目標（27の成果目標・119の業績指標）に基づき、政策評価等を的確に実施し、適切に予算へ反映（新規施策の事前評価を43件実施。）。
- 平成17年度末までに、再評価を約890件、事後評価を約150件実施するなど、事前から事後までの一貫した事業評価を実施。
【関係資料9（P. 68）】

《コスト構造改革の推進》

- 工事コストの縮減を一層推進するとともに、事業のスピードアップによる事業便益の早期発現や、調達における積算方式や発注方式の見直し等を通じ、コスト縮減目標（平成19年度までに、平成14年度の標準的な公共事業のコストと比較して、15%の総合コスト縮減率）の達成を目指す。【関係資料10（P. 73）】

《事業・施策の総合化》

- 成果目標の効率的達成を図るため、事業・施策の総合化を図る。
【関係資料6（P. 58）】

《PFI手法の活用》

- 国土交通省関係PFI事業の件数を、平成18年度末までに、平成14年度末比で3倍増とすることを目指し、羽田空港国際線地区の整備や航空保安大学校の移転等のPFI手法による整備の推進や、補助制度等を活用した地方公共団体におけるPFI事業の推進を支援する。